

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和4年7月22日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・宇和海の全海域で、前月に引き続き真珠層の褐変個体が確認された。
- ・貝殻異常については、一部の貝に、昨年中の感染で回復時に形成されたと考えられる段がみられた。
- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、餌料環境が良好であったため、全地区で健康の目安となる3.0%を上回っており(平均値：7.4%)、良好な状態であった。
- ・宇和海南部漁場では産卵に伴う肉質の低下が認められた。
- ・水温は、7月14～15日の急激な水温低下後、平年より低めに推移している。
- ・産卵に伴い貝の状態が悪化する可能性があるため、貝にダメージやストレスを与えないよう、管理には引き続き十分注意してください。

2 調査結果一覧

() 内は昨年同月の値

漁場*1	貝の種類 (R3産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝*2	7.7(3.0)	-0.3(0.8)	0	20%
中部①	日中交雑貝	11.8(2.4)	-0.6(1.2)	0	40%
中部②	日中交雑貝	9.3(3.7)	-0.9(0.1)	0	50%
南部	日本貝	3.8(1.1)	0.5(1.6)	0	10%
南部	日中交雑貝	4.5(2.8)	-0.1(1.0)	0	15%
平均値		7.4(2.6)	-0.3(0.9)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめどに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%): アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値: 閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。